

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine

第63巻 第3号 2026年3月

CONTENTS

巻頭言

208 「次の世代へーリハビリテーション医療のDNAを繋ぐー」 堀内博志

特集

209 **脊髄性筋萎縮症に対するリハビリテーション治療**

1 | 脊髄性筋萎縮症の病態と治療薬 佐藤孝俊, 他 210

2 | 脊髄性筋萎縮症に対する機能評価 原 貴敏 215

3 | 脊髄性筋萎縮症のリハビリテーション治療のエビデンス 原田理沙 222

4 | 脊髄性筋萎縮症に対する理学療法とその現状 長谷川三希子, 他 228

5 | 脊髄性筋萎縮症に対する作業療法とその現状 高橋香代子 235

6 | 脊髄性筋萎縮症に対する言語聴覚療法とその現状 中山慧悟 242

7 | 脊髄性筋萎縮症に対する呼吸リハビリテーション治療 石川悠加 250

8 | 脊髄性筋萎縮症に対する在宅生活支援 花井亜紀子 258

■教育講座

265 **Advance Care Planningのエビデンスと実践** 森 雅紀

273 **重複障害のリハビリテーション診療** 伊藤 修

281 **顔面神経麻痺のリハビリテーション治療** 仲野春樹

ー原著ー

288 大腿骨近位部骨折患者の術後早期歩行獲得を予測する機械学習モデルの開発
秋葉 周, 他

299 回復期リハビリテーション病棟において歩行レベルの遅延型回復を生じる要因と
予測ーWalking LEVEL Scaleを用いた時系列データ分析とベイズ推定ー
望月 亮, 他

JARM NEWS REPORT

312 第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会【印象記】 川手信行

313 第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会【報告記】 澁谷 匠

314 日本リハビリテーション医学会市民公開講座

あなたが病気になったらどうする～ともに歩むリハビリテーション治療～ 永房鉄之

315 次号予告

国内誌編集委員会 担当理事・委員長 下堂 蘭 恵 副委員長 松瀬 博夫 和田 直樹
委員 伊藤 修 稲垣 有佐 井口 はるひ 川上 途行 柴田 斉子 新見 昌央
林 哲生 原 貴敏 村岡 香織 山内 克哉 山田 尚基